

令和2年度第9回教育研究評議会議事要旨

日時 令和2年12月9日(水) 16時27分～16時55分
場所 オンライン会議 (Zoom 活用)

出席者 23名

穴沢学長, 江頭理事 (総務・財務担当副学長)
鈴木理事 (教育担当副学長), 近藤副学長
高橋評議員 (保健管理センター所長), 副島評議員 (言語センター長),
佐野評議員 (CGS 教育支援部門長), プラート評議員 (CGS グローカル教育部門長),
李評議員 (CGS 産学連携推進部門長), 小林評議員 (国際連携本部長),
水島評議員 (経済学科長), 國武評議員 (企業法学科長),
沼澤評議員 (社会情報学科長), 金評議員 (現代商学専攻長),
齋藤評議員 (アントレプレナーシップ専攻長), 岡部評議員 (一般教育系学科主任)
中島評議員 (経済学科教授), 伊藤評議員 (商学科教授),
河森評議員 (企業法学科教授), 加地評議員 (社会情報学科教授),
中川評議員 (一般教育系教授), ホルスト評議員 (言語センター教授)
小林評議員 (アントレプレナーシップ専攻教授)

欠席者 1名

坂柳評議員 (商学科長)

公欠者 1名

平沢評議員 (情報総合センター長)

議事に先立ち、前回11月4日開催の教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 小樽商科大学学則の一部改正(案)について

鈴木商学部長から、審議資料1に基づき、小樽商科大学学則の一部改正(案)について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、穴沢学長から、本件については12月14日開催の役員会に附議する旨発言があった。

議題2. 小樽商科大学教員人事の基本方針(案)について

穴沢学長から、審議資料2に基づき、小樽商科大学教員人事の基本方針(案)について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、穴沢学長から、本件については12月14日開催の役員会に附議する旨発言があった

議題3. 教員の採用について

穴沢学長から、審議資料3に基づき、社会情報学科計画科学等担当教員の採用について諮られた。

提案後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題4. 教員の割愛について

穴沢学長から、教員の割愛について、以下のとおり提案があった。

○商学科 加藤敬太 教授について、令和3年4月1日付けで、埼玉大学大学院人文社会科学部准教授に採用したい旨依頼があったのでご審議いただきたい。

引き続き、審議が行われ、審議の結果、加藤教授に対し、サバティカル研修における緑丘会からの助成金の返還について確認することを条件として承認された。

承認後、穴沢学長から、本件については1月6日開催の学部・大学院合同教授会に報告する旨発言があった。

なお、評議員から主として以下の意見等があった。

○サバティカル研修の際に緑丘会からの助成金を受けていたのではないかと。受けていた場合、サバティカル研修と退職の時期によっては助成金を返還する必要があるのではないかと。

→サバティカル研修と退職の時期を確認した上で、緑丘会からの助成金について確認したい。

○サバティカル研修に関する規程第12条第2項で、サバティカル終了後は最低3年間本学に勤務しなければならないと規定されているが、これを軽んじるのはおかしい。規程改正をする必要があるのではないかと。

→規程改正の必要性については、今後検討していきたい。

○次回開催について

次回の教育研究評議会は、1月6日（水）現代商学専攻教授会終了後に開催する。

以 上